投資詐欺被害防止インスタフォトコン

厳選30作品を審査

入賞作品は来月発表

県警生活安全企画課は19日、投資詐欺被害防止インスタグラムフォトコンテスト審査会の2次審査会を県警本部で開いた。宮西健至同本部長や県公安委員会の島本太香子委員長など、8人が審査委員として、1次審査を通過した30作品を公開審査した。

7月1日から8月31日までの期間で、インスタグラムで自身の「おすすめしたい奈良」の写真に、本文に投資詐欺被害防止のメッセージなどを書いて投稿したものを審査。205点の応募が県内外からあり、1次審査は県警生活安全企画課が審査した。最優秀賞や優秀賞などに入賞すれば、大和牛や吉野本葛などの奈良の名産品が贈呈される。

この日、8人の審査員は、展示された30作品をそれぞれ吟味。配られた用紙に評価を記入し、提出した。

作品を吟味する審査員ら（手前は宮西健至県警本部長）＝19日、県警本部

審査後、宮西本部長は、「写真が魅力的でメッセージに工夫があった」と感想。また、昨年末ごろからSNS型投資・ロマンス詐欺が増加していることに触れ、「（SNSを利用する人が）これらの投稿を見て、詐欺に対する意識が芽生えたら」と述べた。

県金融機関防犯協議会の太田茂専務理事も作品を審査。「改めて、奈良にはこんなに美しい景色があるんだなと。選ぶのに苦労した」と振り返った。

入賞作品は集計後、10月中旬ごろに発表される予定。

大和さくらい万葉まつり

うまいもの集結

古代の市、雰囲気再現

児童の木工作品展示

第49回大和さくらい万葉まつり（同実行委員会主催）は22日、桜井市粟殿の市役所駐車場一帯で、ステージパフォーマンスや物販など多彩な催しを行い、市内外から多くの来場者でにぎわった。

古代の同市に立った交易品マーケット「海石榴市（つばいち）」のにぎわいを現代に再現する物販ブースには市内外のうまいものがずらり。各種団体も趣向をこらし、能登地方の復興支援で特産品を販売するブースもあった。

桜井木材協同組合青年経営者協議会の「木のまちストリート」では子どもたちが木を使ったゲームアトラクションを楽しみ、市役所1階地域交流センターには第45回桜井市児童生徒木工工作展の力作がずらりと並んだ。

松井正剛市長は「歴史あるこのまつりを桜井市が元気を取り戻す推進力に」と開催宣言。同まつり実行委員長の升田壮亮・桜井青年会議所監事は「今年のまつりを皆で楽しみ、来年の50周年、再来年の市制70周年に向けて盛り上げていきたい」と未来を展望した。

オープニングを盛り上げた園児のマーチング演奏＝22日、桜井市粟殿の市役所前

「写真をもっと」奈良新聞デジタル

手間かけ完成、笑顔

吉野で和紙作り講座

手すき和紙の産地、吉野町国栖（くず）地区で、江戸時代から続く和紙工房の6代目植浩三さん（56）から学ぶ3泊4日の講座が今年から始まった。次回は来年6月ごろを予定している。

和紙の原料植物「コウゾ」の栽培から手がけ、同地の和紙産業に詳しい吉村寿代さん（49）がコーディネーターとなり、原料の仕込みから学べる。植さんは「紙がなぜ白いのかを考えたこの3代目（63）は「舟で紙をすくのは最後の技。そこにたどりつくまでに、しんどい作業を手間をいとわずにやってきた、まさに日本人らしい産業ですね」と感心していた。

自分で仕込んだコウゾですいた紙を手に取り笑顔の参加者＝22日、吉野町南大野の植和紙工房

とがある人は少ないのでは。日本人がどのように紙を作ってきたのか、少しでも興味を持ってもらえれば」と話す。

「商売のルーツを知りたい」と参加した大阪で100年以上続く古紙卸売業は「舟で紙

吉野の自然保全へ

ならコープ・JAならけん

県森林組合連合会に寄付

市民生活協同組合ならコープ（吉田由香・理事長）と県農業協同組合（JAならけん、栗原圭一・代表理事理事長）が包括連携協定を締結して2008年に発足している「地産地消をすすめる会」の「吉野の森と水を守るための募金」の贈呈式が20日、奈良市恋の窪1丁目のならコープ本部であった。吉田理事長と栗原代表理事理事長から県森林組合連合会（北村又左衛門・代表理事会長）の山本敏・代表理事副会長に2023年度の募金額91万7045円の目録が手渡された。

目録を手にする（左から）山本代表理事副会長、吉田理事長、栗原代表理事理事長＝20日、奈良市恋の窪1のならコープ本部

同募金は地産地消を進める一環。ならコープが販売する県産米「ひのひかり」1㌔につき、ならコープとJAならけんがそれぞれ0・5円ずつの合計1円を積み立て、同組合連合会を通じて吉野の森と水の保全に役立てる。2009年11月から始まり、今年で16年目となった。

贈呈式には関係者約20人が出席。栗原代表理事理事長は「募金活動を通じて県の農業振興がさらに継続・発展することを祈念する」。吉田理事長は「県森林組合連合会のみなさんに募金を活用していただくことで、おいしいお米が育つ環境を守っていただいているということを伝え、広めていきたい」とそれぞれ話した。

山本代表理事副会長はこれまでの募金の使途などを報告した上で、「吉野の自然や林業などの歴史を継承しながら、県林業の発展と自然・森林環境の保全に務めていきたい」と謝辞を述べた。

デスク メモ

◇…「2025年入試　高校紹介～奈良県内中学受験校一覧～」（税抜2100円）が発行されました。今回から県内外の高校のほか、県内の私立中学校や中高一貫校など、中学受験校も掲載されています。中でも中高一貫校では、生徒の個性に応じた教育を進める一方で、補習を実施するなど学習指導も充実しています。

また、多くの学校で「探究活動」や「体験的学習」などの教育に注力しています。その成果は大学合格率の高さが物語っています。学校選びの参考にしてもらえれば。（た）

演奏する天理高校吹奏楽部のメンバー＝22日、橿原市北八木町３の県橿原文化会館

やましん元気コンサート
天理高吹奏楽部が演奏

迫力サウンド、観客魅了

「やましん元気コンサート」（大和信用金庫主催）が22日、橿原市北八木町3丁目の県橿原文化会館であった。同金庫の顧客ら約800人が天理高校吹奏楽部の演奏を楽しんだ。

2022年9月開催に次いで2回目。同吹奏学部のメンバー約80人が「鷺（さぎ）の舞うところ」（S・ライニキー作曲）や「メルヘン」（酒井格作曲）、「伝説の『アニメ』メドレー」（高橋宏樹編曲）など8曲を披露した。

冒頭、同金庫の中村正徳理事長は「演奏を聞いて少しでも元気になってもらえれば」とあいさつ。

この後、フクダ不動産（橿原市、福田文彦社長）から同校吹奏楽部へのクラリネット寄贈の贈呈式があった。

同吹奏楽部のOBでもある福田社長から長谷幹男・同校副校長に目録が手渡された。

福田社長は、「後輩に言いたいのは（吹奏楽コンクールで）金賞を取って欲しいということ」と述べた。これに対し、長谷副校長は「ありがたい。さらなる精進をしていきたいし、（クラリネットは）大切に使わせてもらう」と謝辞を述べた。

フクダ不動産

クラリネットを寄贈

長谷副校長に目録を手渡す福田社長（右）＝同

Nara Weekly News

週間リポート　15～21日

検出された僧坊の礎石（左）。担当者が指さす土層は平重衡の南都焼き討ちの火災痕跡＝19日、奈良市雑司町の東大寺

【15日】下北山で沢登りの男性不明、のち死亡確認　午前10時40分ごろ、下北山村前鬼で登山仲間4人と一緒に沢登りしていた大阪市の会社員の男性（40）が足を滑らせ、川に転落した後、行方が分からなくなった。警察、消防が捜索し17日に川で発見。死亡が確認された。

【16日】馬淵氏「早期解散へ準備」　立憲民主党県連代表の馬淵澄夫衆院議員（県1区選出）が奈良市内でシビックミーティングを開き、党員、支持者ら約100人を前に、党代表選の出馬見送りの経緯などを語った。その上で「早期解散に向けて準備を進める」と決意。

【17日】県内商業地、26年ぶり100万円超　県は、土地取引の指標となる2024年県地価調査（7月1日現在）の結果を発表。林地を除く全用途の対前年平均変動率はマイナス0・3%と17年連続の下落となった。一方、商業地、工業地は上昇。最高価格地点は奈良市東向中町4番の102万円で、26年ぶりに100万円超に。

下市町長選、吉井氏が出馬表明　任期満了に伴う下市町長選挙（11月5日告示、同10日投開票）に向けて、町議会副議長の吉井辰弥氏が無所属で立候補する意思を表明した。同選挙への出馬表明は初めて。

投資詐欺で高額被害相次ぐ　県警は、大和郡山市の70代女性と天理市の70代男性がともにSNSで勧誘されたことをきっかけにして、それぞれ約2340万円、約360万円をだまし取られる被害に遭ったと発表した。

【18日】26年度試験から県の正規教員を増員　県は来年実施する県内の公立小・中学校の2026年度教員採用試験から、各校種の募集人数を増やし、正規教員数の拡大に乗り出す。山下真知事が会見で明らかにした。

下市町長選に仲嶋氏が出馬表明　任期満了に伴う下市町長選挙で、町議の仲嶋久雄氏が無所属で立候補すると表明した。同選挙への出馬表明は2人目。

【19日】東大寺発掘調査で僧坊の礎石12基検出　奈良市の東大寺は、講堂・三面僧坊跡の発掘調査で、僧侶が生活した僧坊の礎石12基を検出したと発表した。記録が残る計3回の火災痕跡も確認。2回の再建時には創建時とほぼ同じ場所で建て直していたことも分かった。

大和郡山市会、議員定数2減案を可決　大和郡山市会はこの日再開した9月定例会で、議員定数を現行の20から18にする案を賛成多数で可決した。

【20日】新アリーナ、医大新駅西も候補地　2031年に県開催が内々定っている国民スポーツ大会に向け、県が県立橿原公苑（橿原市）に新設を計画していたアリーナについて山下真知事は、近鉄橿原線の「医大新駅」西側の土地を新たに候補地に加える考えを示した。

今中上牧町長が勇退へ　上牧町の今中富夫町長（73）＝4期目＝は町役場で記者会見し、来年3月22日の任期満了に伴う次期町長選挙に出馬しないことを表明した。

十津川村長選、現職が再選出馬表明　任期満了（来年4月24日）に伴う十津川村長選挙で、現職の小山手修造村長（61）が、村議会の一般質問に答え、再選を目指して無所属で出馬する意思を表明した。同村長選への出馬表明は初めて。

【21日】「なら国際映画祭」始まる　「なら国際映画祭」が20日夕に奈良市内で開幕。隔年で開催し8回目。今回は「ダイアログ・ウィズ」をテーマに23日までコンペ部門の6作品や学生コンペ部門の10作品、カンヌ映画祭招待作品など国内外の計約30作品を上映する。

ARGYLL
昭和の喫茶店
EST.1981
COFFEE & FOODS GALLERY
☎34-8995

〒630-8686 奈良市法華寺町2番地4　奈良新聞社の本　旅・観光・風景・人物　TEL 0742-32-2117（平日）FAX 0742-32-2773
お近くの書店でお買い求め、ご注文ください。　URL https://www.nara-np.co.jp

これであなたも「飛鳥通」に
おとなのアスカ巡り
沢田 立夫 著
元高校教師の著者が、1995年成7年ごろに冊子に寄稿した飛鳥に関するエッセイ23話を集約。「にしえのアスカ人が残してくれた数多くの遺物や遺跡、記録等々はなにを物語っているのか？」といった視点で、俗など、さまざまな事柄について軽妙に語ります。単なる観光案内のガイドブックではなく、飛鳥をより深く知るための「大人の知識」が満載。飛鳥への旅の前に、ぜひ読んでおきたい一冊です。

A5判 並製本、154頁　定価 1,320円（税込）
ISBN978-4-88856-153-2

昭和の「古都」へ〝時間旅行〟
飛鳥・藤原
写真でつづる宮都の今昔
上田 安彦 写真・文
コマーシャル分野で活躍している著者が、1965（昭和40）年から現在まで、半世紀にわたって撮り続けた写真400点あまりを掲載。65年撮影の山田寺跡（桜井市）や、69年撮影の大和三山（橿原市）、72年発掘当時の高松塚古墳（明日香村）の姿など60～70年代の代表的な飛鳥の遺跡や町並み、万葉歌碑も収録。昔の姿を織り交ぜながら今の「飛鳥・藤原」を見る内容となっています。

A5判 カラー 並製本、137頁　定価 1,870円（税込）
ISBN978-4-88856-136-5

万葉故地・歌碑から寺社まで詳細なガイド
明日香の万葉を歩く
―万葉故地・歌碑と寺社・史跡めぐり―〈上・下〉
二川 暁美 著
日本のふるさと・明日香の万葉故地方葉歌碑、その周辺の寺社・古墳・史跡など10コース（上巻・下巻各5コース）に分け、さまざまな情報を取り上げて詳しく解説。コースごとに地図を付け、万葉歌、寺社、史跡の詳細な情報とともに、主要地点間の距離と所要時間、万葉歌碑の概要を紹介するなど、万葉愛好者のみならず、寺社や史跡めぐりが好きなハイカーにも大変重宝される内容です。著者は大阪府在住の工学博士、学士会・万葉学会会員。日本図書館協会選定図書。

●上巻＝四六判 並製本、398頁　定価2,750円（税込）　ISBN978-4-88856-124-2
●下巻＝四六判 並製本、410頁　定価2,750円（税込）　ISBN978-4-88856-125-9

第一人者が魅力語る
大和路古事記を巡る
和田 萃 著
京都教育大学名誉教授の著者が「古事記編さん1300年」を記念し、2011年8月から12年11月まで奈良新聞に連載した記事に加筆。さらに古事記の編者として知られている太安万侶（おおのやすまろ）ゆかりの田原本町・多（おお）神社・多忠記宮司との対談などを加え、一冊にまとめました。和田氏は日本古代史の第一人者。「古事記」にみえる語伝承のうち、奈良を舞台とした精彩に富む伝承を取り上げ、研究者の立場から考えるところを記し、その魅力に迫っています。写真は弊社の牡丹賢治（関西写真記者協会会員）が撮影しました。

A4判 並製本、54頁　定価 1,100円（税込）
ISBN978-4-88856-117-4

郷土の隠れた偉人4人に焦点
奈良きたまち
異才たちの肖像
安達 正興 著
奈良市出身で、北欧ノルウェー在住の著者が、帰国のたびに資料を集めて書いたもので、奈良市の旧市街『奈良町』の北側「きたまち」に関係する、郷土の隠れた偉人たち4人に光を当てた労作です。命を賭けて平城宮跡の保存に尽力した「棚田嘉十郎（溝辺文四郎）」▼茶の湯の祖で謎の多い「村田珠光」▼刀彫の名工・森川杜園からの後継指名を断った孤高の仏師「竹林高行」▼英語、エスペラントからマレー語まで精通し、戦前・戦中に三十余冊ものマレー語関係の辞書を著した語学の天才「宮武正道」―の生涯を追った読み物です。

四六判 上製本、447頁　定価 1,650円（税込）
ISBN978-4-88856-156-3